

回				
覧				

## 本日(2月10日)中央委員会を開催します。

時間： 2月10日(金) 18:30 から 20:00  
場所： 研究1棟第5会議室  
議題等： 第90回臨時大会議案の構成について

## 臨時大会へ向けて

臨時大会では、統合後の処遇をどのようにしていくのか、我々の仕事を円滑に進めるためには何が必要かなど、活発な議論を期待します。

臨時大会へ向けての日程は以下のとおりです。

- 2月10日(金) 中央委員会  
主な議題： 臨時大会議案の構成、
- 2月15日(水)、16日(木) 東海地区分会長会議(臨時大会議案)
- 2月17日から3月7日 東海地区一斉分会
- 2月18日(土) 科労協春闘討論集会(東京：東池袋)  
--- 執行委員を中心に参加しますが参加希望者は申し出ください。
- 3月8日(水) 13:00 から 第90回臨時大会

## 東海地区の分会長さんへ

大会に関連して、2月15日(水)、16日(木)の2日間、12:20 から 13:00 まで組合事務所にて東海地区分会長会議を行います。

各分会長さんは15日又は16日のいずれかに出席してください。出席できない場合は、代理をお願いします。

1月から、分会役員が交代した分会は、組合事務所に連絡してください。

## 特殊法人労連：市場化テスト問題で国会議員要請行動実施

2月3日 特殊法人労連は、市場化テスト問題で国会議員要請行動を行いました。市場化テスト問題のパンフレットを持って13組に分かれ、全体で約300人の衆議院議員に要請しました。自民党の議員さん本人が聞いてくれる例もありました。原研労からも3名が行動に参加しました。

## 公 示

組合規約第20条第1号に基づき、第90回臨時大会を下記の通り開催します。

2006年2月8日

日本原子力研究開発機構労働組合  
中央執行委員長 岩井 孝

## 記

大会期日：2006年3月8日(水) 13:00~16:30  
開催場所：東海村村松コミュニティセンター会議室(予定)  
議 題：第1号議案 運動の中間総括と春闘方針  
第2号議案 ストライキ権の確立

## 放射線業務手当問題

### 理化学研究所では、「受給者本人に責任は無い」

既報の通り、理化学研究所(理研)では、サイクル機構、原研について、放射線業務手当の問題が発生しており、現在全ての対象職員への支給を停止しています。

2月3日、科労協の単組代表者会議があり、その中で理研労から、理研での放射線業務手当問題についての報告がありました。報告によると理研の使用者側は、この問題について「受給者本人に責任は無い」、「規則の適用を誤った使用者側の責任」として、受給者への譴責を一切行っていないようです。

旧原研の放射線業務手当問題は、機構と我々原研労とのあいだでいまだに決着がついていません。最大の問題は機構が使用者側の責任を一切省みず、受給者や、現場の所属長を譴責していることにあります。旧サイクル機構でさえ、人事・労務管理側の責任を認めていました。それぞれの状況は職場ごとに異なるところもあるでしょうが、人事・労務に責任があるのは共通でしょう。

誠実な態度で解決を図ることを求めます。

## 2006 年春闘アンケート結果 その3

- Q . 統合後、書類等の見直し、メールの取扱、海外出張の扱い等の機構の業務の進め方に関して御見等がある方は、その内容を具体的に記入して下さい。
- ・ 書類等の形式がJNCのものが多い。JNCに吸収合併されたような気分になる
  - ・ ペーパーレス化には賛成だが、使用する人々の意見を取り入れて順次オンラインシステムを改良していくべきだと思う
  - ・ 大洗 所内メールが届くのが非常に遅くなって困る。
  - ・ 組織が変わってから、業務所掌がはっきりしない。
  - ・ とりあえず出しとけ的な業連が多い。例 業連のPDF化 どこまで遵守すべきかあいまい
  - ・ とにかく事務手続きが遅い。どこに相談して良いか分からないことがある。いままで部の事務方がやっていたことが、今後、誰がやるのか誰も分かっていない。
  - ・ 現状あまりまだ困っている事は具体的にはないが、現場管理の考え方が「工場」「プロジェクト」を中心としたシステムなので「研究室」「実験室」とはかなり異なっていると思う。そういう所を押しつけられないよう注意すべきだ。
  - ・ 旧メールアドレス、旧ドメインの維持（最低1年は必要）
  - ・ 受託に関わる海外出張はプロパー予算とは別に計上しているの、その都合適宜対応してもよいはず（一律規定にする必要はないはず）
  - ・ 現場の人間（研究・技術系の人）への事務手続の負担が多く、事務管理が研究開発の支援部門となっていない。
  - ・ 書類・印がはんざつで中身がない。
  - ・ OA化 話にならないほどひどい
  - ・ 規程、規則の条項にしばられ自由度が少なくなった。
  - ・ 大洗地区ではメール到着までに時間がかかるシステムとなった。（効率が悪い）
  - ・ 本来事務職が行うべき仕事まで押し付けられている感じがする。ここまで技術系や研究系にやらせて、事務系はなにをやっているのか？ネットを使い始めているが、結局はプリントアウトして印を押すのでは、あまり意味がないし、GLOVIAで貼り付けできないので、手打ちするのは、ミスをまねくのではないか？
  - ・ IT化するのであればパスワード制にして完全電子化してほしい。わざわざ印鑑を要するのは意味がない。
  - ・ 新法人は「安全重視」をお題目に掲げているが、安全管理体制が改善した気配が全くみられない。旧保安管理室に相当する部署を大幅に拡充してしかるべき。理事長の経営責任だと思ふ。
  - ・ 新法人は管理部門と研究部門を分けるということだったので、研究現場への技術的サポートが少しは変わるのかと思ったら、あいかわらず全て現場の研究者がやらねばならない体制は変わっていない。
  - ・ 従来の部毎の事務室をなくし、研究部門で一つにしてしまったために、事務関係はほとんど破綻している。仕事がスムーズに進まないし、臨時職員に過重な負担がかかっている。組

- 織や仕事内容を見直してほしい。部門とユニットの責任の所在があいまいで、いざ何かあったときに部門では大きすぎて対応がとれないのではないか。
- ・ Eメールも含め、組織や制度の変更が現場の研究者を無視して進められているのは大問題。
  - ・ G.L.クラスの横の連帯が無くなりつつあり研究所らしい雰囲気がない。上位下達に対して何の反応もなく受け入れている。予算執行に関しても、書類で提出できない不便さを感じている。旧機構のような丸投げならいざ知らず。消耗品すら買えない。
  - ・ 旧メールの新年度以降の利用をひき続き可能にして欲しい（研究活動において極めて重要）
  - ・ 研究従事者における事務手続きの簡素化を促進して欲しい。
  - ・ 所外からのメール等利用の制限を緩めて欲しい（高セキュリティが要求されている部署の存在は十分認識している。一律に同一セキュリティをかけるのではなく、部署によってセキュリティのレベルを下げる方法は技術的にもそれほど難しくはないと思う
  - ・ 原子力機構は研究を目的とした機関なのだから「その成果発表としての海外出張は、積極的に促進する」というしくみを構築して欲しい
  - ・ 旧メールアドレスを使えるようにして欲しい。海外出張については、統合後行っていないのでよくわからないが、世の中の常識的な金額で行けるようにすべきと思う。
  - ・ 事務仕事の効率化は全く行われていないし、むしろ逆行している。研究テーマの選択と集中をおこなう前に、仕事の効率化や金の使い方の見直しを徹底的におこなうべき。
  - ・ 出張旅費の支給がおくられて困ることが多い。
  - ・ 書類の数が増えた。手続きが面倒
  - ・ 書類を電子化しているが使いづらい。実際に使う段になってフォローが欲しい
  - ・ 何でも規則化している旧JNCのやり方を一度見直すべき。（何のために、何を目的としているのか、規則化することで本質的な解決が得られるのか等を）

- Q . その他、この統合に対して御見等がある方は、その内容を具体的に記入して下さい。
- ・ 統合前から懸念されたが、JNC主導で動いているようだ
  - ・ 何だか原研が飲み込まれてしまったような気がします
  - ・ PCを使用した契約起票（グローピア）の使い勝手が悪い（時間の制約がある、紙が増える）
  - ・ もんじゅ、人形峠のウラン残土等、統合したからには、旧原研職員も外部から何か聞かれたときに対応できるように情報をしっかり共有しておく必要があると思います。（今後の見直し、計画も含めて）
  - ・ とにかく形だけは統合したが、この先、処遇などがどうなるのか仕事の内容も含めて見えないので不安。これまでの原研がくずれていくような気がする。
  - ・ 統合に関わるバタバタで、事務系の人がかなりの残業で疲れきっている。その上に放業手問題があっってみんなイライラしている。旧サイクルでは、労基署への飛び込み、3件あって少し規制が入っているようだがまだまだ多いようだ。事務系がすり減ってしまって士気が上がらない感じを受ける。
  - ・ 代理決済体制の確立（GL不在時の決裁者指名など）
- =====  
 まだまだあります。乞うご期待。